

会 議 録

名 称	平成27年度 目黒区廃棄物減量等推進審議会（第6回）
日 時	平成28年2月18日（木）午後2時～午後4時まで
会 場	目黒区総合庁舎本館1階 E会議室
出席委員 （敬称略）	安井、庄司、平尾、小林（か）、川原、松嶋、西崎、原、小林（富）、亀甲、藤橋、 小林（雅）、角田、斎藤、平田、大越
区側職員	荒牧環境清掃部長、織田清掃リサイクル課長、石田環境保全課長、伊藤清掃事務所長
傍 聴 者	0名
配布資料	資料1-1 目黒区一般廃棄物処理基本計画改定案について 資料1-2 目黒区一般廃棄物処理基本計画改定素案に対するパブリックコメントの実 施結果について 資料1-3 目黒区一般廃棄物処理基本計画改定素案からの主な変更点について 資料1-4 目黒区一般廃棄物処理基本計画案（概要版） 資料1-5 目黒区一般廃棄物処理基本計画案（本編） 資料2 蛍光管等の分別回収と適正処理の実施について
会議次第	<p>1. 開 会 20人中、出席者は16人であり、半数以上の出席があるため定足数を満たしており、 会は成立する。</p> <p>2. 議題 以下、発言者名・名称は下記のとおり表記する。 環境清掃部長・・・・・・・・・・部 長 清掃リサイクル課長・・・・・・・・・・リ課長 清掃事務所長・・・・・・・・・・事務所長 環境保全課長・・・・・・・・・・環課長</p> <p>（1）目黒区一般廃棄物処理基本計画改定案について リ課長 （資料1-1～1-5に基づいて説明） 会 長 審議会としては既に答申を出しているため、区が作成した計画書案に対する決 定権はない。答申の内容が十分に反映されていないなどの不満がある場合には議 事録に残すことはできる。パブリックコメントの意見の中には、たとえば三層構 造の問題など、区が計画には明記できない、あるいは明記するにしても覚悟が必 要な項目もある。三層構造の問題については、現状では清掃一組を通じて意見を 反映するしかないため、審議会から一組の評議会のメンバーである区長や議長に 対して、目黒区の要望をしっかりと発言するようという趣旨を議事録に残す か。清掃一組の議会は傍聴ができるので、可能な方は参加してはどうか。</p> <p>PDCA サイクルについては、一般には知られていないが、最近では PDCA サ イクルをわかりやすく説明したコミックも出ているので、一読することをお勧め</p>

	<p>する。区民1人1日当たり100gの減量目標について、今日の審議会の資料の重さは315gなので約3日分のごみ減量分に相当する。経済産業省の会議はペーパーレスで行われることが多いが、評判がよくない。環境省の会議はペーパーレスが遅れている。</p> <p>循環型社会形成推進基本計画では、「2R」を前面に打ち出したが、環境省は対策を立てることができず困っているのが現状である。しかしながら、たとえばレコーダーの重さは1/5～1/10、レジ袋も軽量化が進むなど、企業の努力によって自動的に進んでいる感がある。</p>
委員	<p>表紙のキャラクターの頭に「3R」と表記されているが「2R」との矛盾はないか。</p>
リ課長	<p>2Rに重点的に取り組むが、リサイクルをやめるわけではないので問題はない。</p>
委員	<p>目標値の10,000トン削減について、年間という表記がない。</p>
リ課長	<p>最終版に反映したい。</p>
委員	<p>計画はよくまとまっており、概要版もわかりやすい。目標値のリサイクル率についても、現状は何パーセントなのかという表記が必要と考える。この計画を、どのように町会・自治会等に水平展開して区民に伝えていくのか。概要版の8ページ目の回覧が有効と考える。</p>
リ課長	<p>リサイクル率についても最終版で工夫したい。</p> <p>区民への普及啓発としては、「資源とごみの分け方・出し方」の改訂版を4ページ増やして目標値を入れる予定である。多くの区民の方に見てもらえるようなものを工夫したい。</p>
委員	<p>清掃工場では水銀含有物の混入が問題となっているが、普及啓発が必要である。</p>
リ課長	<p>水銀含有物の分別回収を4月から始めるので、「資源とごみの分け方・出し方」にも加えている。それとは別に、A3版の資料も作成中である</p>
委員	<p>蛍光管と血圧計では含まれている水銀量が6,000倍も違う。血圧計は1本で清掃工場が止まってしまう。</p>
リ課長	<p>製品ごとのリスクについては、普及啓発の際の参考とさせていただく。</p>
委員	<p>水銀含有物の分別回収については、今、説明を聞いたのでわかったが、新しい分別なので一般区民にもわかりやすいように目立つよう表記してほしい。</p>
リ課長	<p>そのように考えたい。</p>
委員	<p>高齢者や障害者の増加に伴って戸別収集を広げる必要があるが、家庭ごみ有料化を結びつけることは問題がある。</p>
リ課長	<p>高齢者・障害者世帯の戸別収集と家庭ごみ有料化はイコールではない。現状では、高齢者・障害者世帯については清掃事務所が戸別収集しているが、区全体で戸別収集を導入する場合には、家庭ごみ有料化抜きを検討は進めにくい。</p>
委員	<p>家庭ごみ有料化の一番のポイントは「負担の公平性」であり、戸別収集は重要ではあるが、家庭ごみ有料化との関連では付随的なことと考える。</p>

リ課長	家庭ごみ有料化については、審議会ですらいろいろなご意見をいただき重く受け止めている。そのため、計画書の P22 で課題として取り上げている。施策の中でも重要施策 5 の他に重要施策 3 でも取り上げている。今、具体的な方向性は出せないものの、課題として目を背けないためにも重要施策に記述した。
委員	12月13日にエコまつりでアンケートを行ったところ、家庭ごみ有料化の賛成理由は、ごみに対する意識が変化すること、反対理由はお金がかかることである。ごみ量が少量なら安くするなど、工夫をすればよいのではないか。
委員	P42の家庭ごみ有料化については、説明を聞けば意図が理解できるが、わかりやすくした方がよいのではないか。
部長	現在の集積所の増加には、収集作業の工夫で対応しているが、全区で実施するとなると経費が増加することになる。ある区では経費が1.7倍になっており、目黒区で実施した場合に、これを税金でまかなうことには限界がある。実際に家庭ごみ有料化を議論する際には、審議会ですら丁寧に議論したい。
委員	私の集積所では3軒が1か所の集積所を使用してきたが、1軒が戸別に移行した。財政面を考えると、どうしても戸別でなければごみ出しが困難な人だけに限定すればよいのではないか。
会長	家庭ごみ有料化は簡単な問題ではなく10年くらいかけても、できないかもしれない。
委員	多摩地域は家庭ごみ有料化を導入している方が多く、23区でできないのは23区の特事情である。計画書には有料化と戸別収集を「一体的」と表現しているが、関連付けて考えるという趣旨でよいのではないか。
リ課長	多摩地域のある職員から、財政が厳しいので戸別収集の導入と家庭ごみ有料化は一体的に取り組まないと立ちゆかなくなるので、セットで導入したと聞いた。
部長	家庭ごみ有料化の検討は避けて通れない課題である。計画書の文言が、戸別収集の拡大だけが家庭ごみ有料化の理由と取られるならば、それは本意ではないので、表現の修正を検討してほしい。
委員	検討だと、区の姿勢がはっきりせず責任逃れに見える。
部長	家庭ごみの有料化にはクリアすべきさまざまな課題があり、23区は遅れていることも認識している。しかし、現段階では導入を決めているわけではないので、検討としか記載できない。
委員	高齢者・障害者への対応のために戸別収集が増加し、その経費を補うために家庭ごみ有料化を導入するという趣旨に読める。
部長	P42の文章全体を見れば、委員の指摘したような趣旨には取れないと考える。高齢者・障害者世帯が増えれば戸別収集が増えるが、区内の全世帯が高齢者・障害者世帯ではない。計画書の文章を読めば、「対応が必要な高齢者・障害者世帯が増加するから、有料化を導入してお金を取る」という趣旨ではないことは理解いただけると考える。
会長	「一体的」という表現が強いので表現を検討してほしい。

委員 横浜市の G30 のように、よくわからないキャッチフレーズで人目を引くことが有効である。

リ課長 担当ベースではいろいろと考えており、区民に興味を持ってもらえるような普及啓発をしていきたい。

(2) 蛍光管等の分別回収と適正処理の実施について

事務所長 (資料 2 に基づいて説明)

委員 水銀含有物の分別回収については、業界団体にも協力をいただいて、単身世帯への普及啓発を進める必要がある。

事務所長 集合住宅への周知も図っていく予定である。

委員 商店街は LED に変わる方向なので蛍光管が多量に排出されることになる。商店街や不動産店を通じた普及啓発が必要である。

会長 水銀含有物については日本全体で同じような対応になるのか。引っ越し先でも同じであれば普及啓発がしやすい。

リ課長 法律の施行が平成 28 年 12 月なので、ある程度同じような対応になると考えるが、分別は自治体によってバラバラなので転入者の普及啓発は必要である。

委員 若い人は水銀の入った体温計を知らないのか、“体温計”と言われても悩むのではないか。

委員 ボタン型電池でも日本製は水銀ゼロであるが、水銀の含まれる電池もあるのでわかる範囲で回収する必要があるのではないか。

委員 新しい制度なので区民に危険度を喚起するためには、製品別の水銀含有量などの情報を提供する必要がある。

会長 蛍光管は 1 本当たりの水銀含有量が 0.01g 未満だが、血圧計は 70g 入っている。2005 年で 39,700 台が製造されているので、ごみに入ってくるリスクはある。

リ課長 そのようなものが清掃工場に入ると清掃工場が停止してしまう原因となる。

2. 閉会

以 上